

研究機関：広島大学

研究課題名	心理療法中の会話データを対象とした治療プロセスの検証
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学 教授 岡本 泰昌
研究期間	2020年11月9日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2015年6月から2018年3月の間に、広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学が主導する広島大学元気プロジェクト(研究課題名「新入大学生の抑うつ症状に関する対処用の有用性についての検討：オープントライアル-広島大学・元気プロジェクト(Hug-project)第C-8号」)にて認知行動療法による治療を受けられた方。
意義・目的	大学生の抑うつ症状に対する認知行動療法の効果については、おおよそ効果的であるということが明らかになっていますが、どのような治療プロセスが特に治療効果を向上させるかについてはまだ解明されていません。今回、治療中の治療者とのやりとりの内容を解析することで治療中にどのようなことが話され、それが治療効果にどう関連するかを明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、先行研究(第C-8号)で得られ、既に匿名化(個人が特定できる情報を削除すること)されている治療中の録音データおよび心理指標データを二次解析します。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学 教授 岡本 泰昌
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5208 広島大学大学院医系科学研究科 精神神経医科学 助教 横山 仁史